

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】平成29年11月9日(2017.11.9)

【公開番号】特開2016-123610(P2016-123610A)

【公開日】平成28年7月11日(2016.7.11)

【年通号数】公開・登録公報2016-041

【出願番号】特願2014-266467(P2014-266467)

【国際特許分類】

A 6 1 F 13/49 (2006.01)

A 6 1 F 13/514 (2006.01)

【F I】

A 4 1 B 13/02 F

【手続補正書】

【提出日】平成29年9月28日(2017.9.28)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

吸収体と、

前記吸収体の肌対向面側に位置する肌面シートと、

前記吸収体の非肌対向面側に位置する防漏シートと、

前記防漏シートの非肌対向面側に位置する外装シートと、

前記防漏シートと厚み方向において重なり、前後方向に伸縮する弾性部材と、を有する吸収性物品であって、

前記防漏シートの前後方向の外側端部は、吸収性物品の前後方向の外側端部よりも前後方向の内側に位置し、

前記弾性部材の有効長の範囲は、前記防漏シートと前記厚み方向において重なっており、

前記弾性部材から前側に延びる前側領域及び前記弾性部材から後側に延びる後側領域において、前記肌面シートと前記外装シートは、接合されている、吸収性物品。

【請求項2】

前記前側領域と前記後側領域の少なくともいずれか一方の前記肌面シート又は前記外装シートには、前記肌面シート又は前記外装シートを前記厚み方向に貫通した開口が形成されている、請求項1に記載の吸収性物品。

【請求項3】

前記防漏シートの前端縁及び前記防漏シートの後端縁のうち少なくとも一方を覆う被覆シートを有する、請求項1に記載の吸収性物品。

【請求項4】

前記防漏シートの前端縁及び前記防漏シートの後端縁のうち少なくとも一方を覆う被覆シートを有する、請求項2に記載の吸収性物品。

【請求項5】

前記被覆シートは、前記開口を覆って配置される、請求項4に記載の吸収性物品。

【請求項6】

前記弾性部材の前後方向の外側端部は、前記防漏シートの前後方向の外側端部よりも前後方向の内側に位置する、請求項1から請求項5のいずれかに記載の吸収性物品。